

プロテニスリーグ概要

一般社団法人プロテニスリーグ機構

1. プロテニスリーグとは

日本国内で年間を通してリーグ戦等の活動を行い
テニスファン、地域、選手、スポンサーにとって
新しいテニスの可能性を提案するプロスポーツリーグ



国内プロリーグの仲間入りを果たす



2. プロテニスリーグの必要性

<国内スポーツ市場と参考指標>

出典:※1 社会生活基本調査

※2 日本テニス協会(令和2年3月31日現在)

	テニス	ゴルフ	バスケ	卓球	サッカー	野球
競技人口 ^{※1}	563万人	890万人	486万人	766万人	677万人	814万人
プロ選手数	346人 ^{※2}	5,000人	432人	86人	566人	727人
平均年収	400万円	800万円	1,610万円	1,500万円	3,440万円	4,180万円
プロリーグ	×	×	Bリーグ	Tリーグ	Jリーグ	プロ野球

- テニスはメジャースポーツであるにも関わらず、見られる機会(観戦)が極端に少なく、メディア露出と宣伝力が低い。結果、スポンサー企業の投資対象から外れている懸念がある。(お金が流れてこない理由)
- 我々はその課題を解決し、他競技に引けを取らないマーケット形成を実現し、選手への資金協力(賞金・スポンサー費、出演料等)と活躍機会を提供して参ります。

3. なぜプロリーグなのか

プロリーグにリソース(ヒト・モノ・カネ)が一つの場所に集まり
相乗効果が生まれることによって業界が大きく成長・拡大

事例 | バスケットボール(Bリーグ)

出典 | [B.LEAGUE BEYOND 2020](#)

入場者数は 2017-18シーズンは12%成長、
2018-19シーズンは平日開催が70試合以上増えたにも関わらず4%成長。
事業規模はリーグ、クラブとも右肩上がりで順調に推移。
リーグ収益はB.LEAGUE立上げ前(8億円)と比べると約6倍以上(50億円)に増加。

	2015-16	B.LEAGUE 2016-17 SEASON	B.LEAGUE 2017-18 SEASON	B.LEAGUE 2018-19 SEASON	※開業3年間の成長率 年間平均 成長率
入場者数	162万人	224万人	250万人	259万人	8%
JBA 収益	14億円	23億円	30億円	38億円	33%
リーグ 収益	8億円	46億円	48億円	50億円	4%
クラブ 収益	83億円	150億円	195億円	215億円	20%
事業収益 計	105億円	219億円	273億円	303億円	18%

※2018-19収益は見込値
JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE



*出典 | 朝日新聞 2019.11.26

現在の年平均成長率を維持した場合
2020-21SEASONに300万人まで拡大
(リーグ発足前年度のおよそ2倍)

選手(B1所属)の平均年俸も年々増加*

2016-17年 820万円
2018-19年 1,310万円
2019-20年 1,610万円

4. テニスの魅力

テニスは老若男女・健常障害の区別なく 一生涯にわたって一緒に楽しめる国民的スポーツ

スポーツ部門の参加人口（2018年）

種 目	参加人口 (万人)	種 目	参加人口 (万人)
1 体操(器具を使わないもの)	2,410	11 釣り	620
2 ジョギング、マラソン	2,160	12 キャッチボール、野球	550
3 トレーニング	1,750	13 テニス	540
4 ボウリング	950	14 サッカー	460
5 水泳(プールでの)	900	15 バレーボール	420
6 卓球	830	16 エアロビクス、ジャズダンス	400
7 サイクリング、サイクルスポーツ	770	17 スキー	380
8 バドミントン	680	18 バスケットボール	330
9 ゴルフ(コース)	670	19 ソフトボール	270
10 ゴルフ(練習場)	660	20 スノーボード	210

注：上位20種目を表示。
資料：公益財団法人日本生産性本部 余暇創研（2019）「レジャー白書2019」生産性出版／公益財団法人日本生産性本部

日本の競技人口は343万人

出展 | 2020年日本テニス協会

2020年 好きなスポーツ選手

《女子》第2位 大坂なおみ 選手
《男子》第3位 錦織圭 選手

出展 | 2020年オリコンニュース

男女問わず競技者・ファンが多く
テニスを主とした人気ドラマや漫画などの
カルチャー人気もある。

元プロテニス選手のメディア露出も多く
スポーツとして価値が非常に高い。

5. PTL(Professional Tennis League)のビジョン

～プロテニスリーグが作るニッポン～

テニスファンを1000万人へ

テニスの価値の最大化「家族でテニスを観に行こう」

地域に新たな喜びを作り出す

地域に根差した活動「私の街にプロリーグを」

プロがプロであるために

子供達が夢、憧れ目標とする「1億円プレイヤーの輩出」

ここでしか観られない感動・興奮を

未経験者も楽しい、コアなファンも納得「新テニスエンターテインメント」

6. PTLのコンセプト

5つの「K」

興奮



共感



感動



共有



共生



6. PTLのコンセプト：興奮

最新機器による音響や照明等による
エンターテインメント性を重視



6. PTLのコンセプト：共感

プロ選手と直接コミュニケーションによるファンサービス第一に
選手の生い立ちやストーリーを知って身近に感じる



6. PTLのコンセプト：感動

プロの力と技による真剣勝負
勝ち負けを越えたドラマに立ち会える



6. PTLのコンセプト：共有

チームの勝利がファン・選手・スタッフの共通目標



6. PTLのコンセプト：共生

地域密着の運営を行い、地域社会の活性化をテニスの力で推進
(テニス教室や地域貢献活動など)



7. PTLの実施概要

今までにない「男女混合の団体戦方式」で試合を実施 試合時間はコンパクトに2時間程度

開始時期	2023年4月予定	
実施期間	毎年4月～10月	
対戦方式	団体戦方式 合計5本 (予定) 男女シングルス 各1本 男女ダブルス 各1本 MIXダブルス 1本	
ルール	WTT方式の特別ルール ※現在調整中	
会場	地域体育館及びアリーナ	
出場選手	主に国内上位ランキング男女プロ	
チーム	関東4チーム程度でスタートいずれ主要都市にて全国展開予定	
備考	年間上位チームによるチャンピオン大会を10月に実施 選手は日本リーグと共に参加可能	

9. 第1回プレイベント

実施日

2021年2月21日

参加プロ

行田EREK 江原弘泰プロ 片山翔プロ 穂積恵莉プロ 澤柳璃子プロ
藤沢GYME 添田豪プロ 望月勇希プロ 美濃越舞プロ 林恵里奈プロ
解説 森田あゆみプロ

クラウドファンディング総額 2,601,000円

サポーター 272名

その他協賛企業3社

協賛金 2,600,000円

メディア掲載

フジテレビ FNN LIVE NEWS α

Yahoo!ニュース

テニス系メディア多数



9. 第1回プレイイベント



9.プロテニスリーグの挑戦

～新たな価値の創造～

PTLは白紙の地図にプロテニスリーグという絵を描きます。
テニスの新たな魅力を引き出す事でテニスの価値を最大化します。



ぜひ応援よろしくお願いいたします！